【突発性発疹症】

突発性発疹症とは

生後4～5か月から1歳半までの乳児がかかりやすいウイルス感染症です。
症状は、急に39度から40度近い高熱が出て、3～4日続きます。
多くは咳・鼻水はなく、また下痢をする事があります。
熱が下がってから発疹が出ます。発疹は2～3日で消えます。

治療

特別な治療薬はありません。機嫌が悪ければ解熱剤を使用することもあります。

家庭で気をつけること

・食事　：発熱のために食事がとれない時もありますが、無理せず、お子さんの好きな水分（ミルク・お茶・赤ちゃん用ポカリスエット等）を少しずつあげてください。
・入浴　：いつも通りで良いです。ただし、無理はしないでください。お風呂で体が温まると、赤みが増す事があります。
・外出　：熱が下がれば良いです。

再診の目安

・熱が5日以上続く時
・元気がなく、ぐったりしている時
・水分がとれず、おしっこの量が減った時

予防接種

予定している予防接種があれば、病気が治ってから1週間経過してから受けましょう。

平成30年7月
坂ノ市こどもクリニック